市報
平成9年
11月23日
第1604号
にいがた
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1　編集 総務部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口（10月末現在）

人口	487,043人	（+175）
男	236,567人	（+88）
女	250,476人	（+87）
世帯数	181,590	（+212）

住民基本台帳による。（）は前月比

保健福祉部を新設
東・西保健所を統合

少子化・高齢化社会に対応し、市では、保健と福祉の総合的なサービスをより一層進めていくための体制を整備します。来年四月に、衛生部と福祉部を統合し保健福祉部を新設。また、東・西保健所を統合し、新保健所とします。

この体制設備は、保健と福祉に関する施策の企画や実施を一元化して、総合的でよりきめの細かい市民サービスを目指すものです。市では今年度から、地域に密着し、保健と福祉のサービスを一体として提供する、地域保健福祉センターの設置を開始。来年四月以降は、衛生部門と福祉部門を組織的に統合することで、保健と福祉のより一層の連携、高齢者や障害者の在宅サービス業務の強化・総合化を図ります。

保健所の統合については、二つの保健所の事務部門を集約し、事業の合理化と効率化を目指します。また、二つの保健所の業務を取りまとめるために、従来衛生部にあった保健衛生施策に関する企画、調整、予算などの権限を新保健所に移し、保健所機能の強化を図ります。

新保健所は、市役所第二分館に設置。管理事務と食品衛生や環境衛生の許認可事務などを行います。

従来の東・西保健所には、それぞれ東・中央地域保健福祉センターを開設。また、新保健所の分室も設置し、結核外来相談やレントゲン検診などを実施します。

これにより地域保健福祉センターは、四月にオープンした南地域、来年四月にオープンする坂井輪地域と合わせて四カ所となります。

将来的には、設備を充実した新しい保健所を適地に建設する予定です。

4月にオープンした南地域保健福祉センター（上）と検診の様子（下）

新潟空港ICが完成
北陸自動車道が全線開通

北陸自動車道の起点となる新潟空港インターチェンジ（IC）が完成し、十一月十三日に新潟亀田IC―新潟空港IC間六・〇キロの開通式が行われました。同区間の開通により、本市を起点とし滋賀県米原ジャンクションで名神高速道路とつながる、全長四百八十七・〇キロの北陸自動車道が、全線開通したことになります。

式典には、国、県などの関係者らとともに長谷川市長、山川米原町長が出席。テープカットなどの後、全線開通を祝して市長と米原町長、日本道路公団北陸支社長の三者が握手を交わしました。

また、陸（道路）、海（港）、空（空港）をつなぐ拠点ともなる同ICの完成を祝し、ミスハイウエー、ポートクイーン、スチュワーデスの皆さんから花束が贈られました。

同日、新潟空港ICから空港近くの国道一一三号に向かって伸びる都市計画道路「十山江口線（新潟空港IC―新々バイパス一日市IC間）も開通。新潟空港へのアクセスがより便利になり、新潟空港の拠点性がいっそう高まると期待されます。

米原町長らと握手を交わす長谷川市長（右から四番目）

12月3日
鳥屋野地区で市政懇談会
市長と地域の課題を

地域の皆さんと市長が身近な問題について話し合う懇談会が、鳥屋野地区で開催されます。

地区で選んだ議題は次の通りです。このほか、会場の皆さんから発言していただく時間もあります。多数の参加をお待ちしています。

会場 鳥屋野地区公民館
対象 鳥屋野地区在住の人
市側出席者 市長、ほか
議題
①鳥屋野潟浄化と公園整備について
②都市計画道路明石紫竹山線整備の早期実施について
③都市計画道路網川原線の早期整備について
問い合わせ 市民相談室（☎内線2062番）へ
日時 十二月三日午後一時半から

きょう23日開催
勤労感謝フェスティバル

時間 午前十時～午後五時
会場 新潟テルサ
問い合わせ 会場（☎281・1888）へ

この道一筋 ⑪

新潟漆器「竹塗」　伊藤亀雄さん（71歳、関屋大川前1）

平成7年に伝統的工芸品産業功労者褒賞を受賞。伊藤さんの技術は、新潟の伝統工芸を後世に伝えるために市で作成した「新潟漆器」（全6巻）のビデオに収められています。

伝統息づく職人技

竹の節の盛り上がりやゴマを散らしたような模様、表面には竹特有の細い線。本当に漆で出来ているの？―と目を疑うほど細かいところまで竹に似せて塗る技法を「竹塗」といいます。

「漆器の中でも竹塗りは特に手間が掛かる。もうけはあんまりないけどね」と伊藤さん。竹塗の伝統を守り続けている全国でも数少ない職人です。

山形県から本町の親方のもとに修行に入ったのが十二歳の時。「体が弱かったから家の中でやれる仕事を選んだ」とこの道に入ったきっかけを話します。

昔は古町に約四百人の塗師がいたほど、新潟漆器は栄えたそうです。蒔絵を施したものも新潟の特徴で「人と人ならいで趣きがだいぶん変わる」と今ではいなくなった蒔絵職人を懐かしみます。

「手元にないが皇太子妃雅子さまに贈られた文庫が一番かな」と言いながら、自信作の化器や竹模様の珍しい火鉢を見せる伊藤さん。以前訪ねてきた小学生の手紙や寄せ書きを取り出し「これも大切な宝物」と顔がほころびます。

◇　◇　◇

連載「この道一筋」は終了します。

市立幼稚園
教員を募集

試験日 十二月十三日
試験会場 寄居中学校
受験資格 昭和四十四年四月二日以降の生まれで、幼稚園教諭普通免許状取得者または平成十年四月一日までに取得見込みの人
募集人数 二人
試験内容 筆記試験（論文、専門）、体育・音楽実技
試験案内・申込用紙 学校指導課で配布中
申し込み 十二月一日（郵送の場合は消印有効）までに同課（学校町通一―六〇二―第二分館三階☎内線3246番）へ

市役所☎228-1000（代表）

電話案内

園芸センター	286-1034
水道局	266-9311
市民病院	241-5151
東保健所	243-5311
石山地区保健センター	286-4450
南地域保健福祉センター	285-2373
北地区保健センター	259-7332
西保健所	266-5171
西地区保健センター	262-3405
坂井輪地区保健センター	260-3255
急患診療（市医師会・県歯科医師会）	
急患診療センター	228-2822
休日歯科診療センター	283-3030

市ホームページのアドレス　http://www.mediagalaxy.co.jp/niigatacity

1月15日成人のつどい
20歳の主張を募集

来年1月15日の成人の日のつどいに「20歳の主張」を発表する人を募集します。日ごろ感じていることや、二十歳になってなどの夢や抱負、社会について自分の考えなどを主張してみませんか。

題 「20歳を迎えて思うこと」を400字詰め原稿用紙2・3枚程度
応募資格 昭和52年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた人
申し込み 12月5日（必着）までに住所、氏名、生年月日、勤務先（学校名）、電話番号を記入した用紙と葬表原稿を同封して青少年課（学校町通1―602―1☎内線3263番）へ

障子・ふすま張り替え講習会

日時 12月11日午後1時～4時
会場 鳥屋野地区公民館
対象 成人先着50人　**参加費** 300円
申し込み 会場（☎285-2371）へ

市視聴覚センター　市民映画鑑賞会

日時 十一月二十六日午後二時～三時半ごろ
上映作品 「渡る鳥、渡らない鳥」、「琉球の自然」、ほか
定員 先着五十人
申し込み 同センター（☎222・7400）へ